

やまのかたりべ  
第59章 ハヶ岳 編笠山

やまのかたりべ第56章(コレクション370号)で書かせていただいた、山頂まで行けなかった編笠山に登りに行きたいと思う事数カ月。季節はすっかり夏。梅雨の合間を狙って今回リベンジすることに。天気次第なので、前日まで決行を決め兼ねる…台風9号、10号、11号と発生しているが9号は反れ、本州一体晴れ間が続く。これはチャンス！と編笠山リベンジ決行！夫を誘うが忙しくて行けないとの事。了解！私一人で楽しんでしまます。

7月12日(日) AM4時30分 起床

昼食のおにぎりを作り、水筒には氷をたっぷりつめて水を注ぐ。これだけでは足りないなので、水を凍らせたペットボトルも持参。山頂に登るまで水場がないので、水分は多いかな…と思うぐらい持参。

5時40分 自宅出発

前回同様、八王子で6時35分発、各駅停車松本行きに乗り換える。八王子が始発なのでありがたい事に座れる。下車する小淵沢駅まで2時間以上あるので睡眠時間にする。

9時02分 小淵沢駅到着

今回は、編笠山の登山口である観音平に向かう人が自分一人しかいなかった。今日の天気はピーカン！観音平に行く登山者いるでしょ～！と思い電車を降りる。あれ？登山者が…いない？まさか～また

一人タクシー？と思いながら改札を出ようとすると、スイカカードの残高が足りずひっかかる…。ここで思わぬ現金払いとなり、財布の中には千円札が一枚と小銭のみ…ん～、まあ、山ではお金使わないし…何とかかな？？いざとなればクレジットカードで何とかしようと、祈る思いで取りあえず改札を出る。

停車しているタクシーは一台もなく、目の前のタクシー案内センターへ。登山姿の女性が案内係の方から4番の整理券をもらっていたので、とりあえず私も5番の整理券を受け取る。女性がもしかしたら観音平に行くかもしれないと希望をもち声をかけると、「観音平にいきますよ」とのこと。「それでは、ぜひ乗合で行きませんか？」と相談すると、「そうしましょう！！」と。わあああ、神様ありがとう！案内係の方に4番の方と一緒に乗りますので、と話すと「乗合はダメです。」と一言。えっ！そんな決まりがあるの？？

北アルプスではよく乗合タクシーするけど…と思ったが、ダメと言われたら仕方がない。諦めてタクシーを待つ事に。

4番の整理券を持った女性の友人らしき方が後から姿を現す。二人ともおシャレなかわいい格好。ん～、自分ももう少し持物に気を付けるかな…なんて考える。そうこうしているうちに、4番の方のタクシーが到着。運転手の方が出て来て、女性2人のザックをトランクに積みながら私の方を指さして会話している。あ～私も乗りたいと思っていたら、女性の方が来て、「運転手さんが目的地一緒なら乗っていいよ」とのこと。運転手さんに感謝。おかげで無事、乗合にて観音平を目指す事に。

今回はゲートが開いているので、観音平までタクシーで向かう。小淵沢駅から観音平まで、運賃¥3,

340 円。端数は乗合させて頂いた私が払わせて頂いた。…これで所持金が 500 円切った。  
「帰りにまたお会いしたら乗合しましょう〜」と声をかけて頂き、「その際はよろしくお願ひします」と応えたが、もう乗合できるお金は持っていないので、タクシーは乗れないわ…と心の中で呟く。

観音平の駐車場は満車。昨日から入って一泊している方もいるのであろう。今日は雨の心配も無く、気持ちよく歩けそうだ。

9 時 40 分 女性 2 人にお礼を言って、観音平を出発  
今回はトレーニング登山と言う目的もあり、山頂まで水分を取る以外は休憩なしで歩こうと決める。歩き始めて 10 分もしないで既に額から汗が垂れる。

前回は季節が 4 月。まだ広葉樹の葉も生い茂っていなかったが、今回は緑が溢れている。クマ笹も地面を覆い尽くし、すくすく成長。鳥達もさえずり、大きな虫達がぶんぶん飛び回っている。  
夏を感じさせる草の匂い、夏山の季節だ…。  
山頂の景色を思うと気持ちがワクワク  
足取りが早くなる。



10 時 05 分 雲海展望台到着  
前回はガスで白い世界だったが  
今回は葉が生い茂っている…  
景色はあまり見えなかった。

10 時 30 分 押手川到着  
青年小屋を経由して編笠山に向かうコースと  
編笠山に直で向かうコースの分岐点。  
休憩されている方数人。私もここで水分補給。  
雪はすっかり無くなっている。  
山頂直行コースを選択。ここから登りが急になる。  
前回、自分がどこら辺で道が分からなくなった  
のか思いだしながら登る。  
梯子をすぎ、森林限界地点に。  
確かにここは迷うわ〜。  
のっぺりした岩場が姿を現す。



11時10分 標高2524m編笠山山頂到着



数年前に登った山。当時この景色に大変感動した。今回二度目の登頂だが、やはり素晴らしい景色が広がっていた。



遠くに、北アルプス、富士山も見えた。  
私は権現岳、赤岳を楽しみつつ少々早いお昼を堪能。  
ハケ岳、カッコいい。

日差しは強いのだが、風も少々強く、じっとしていると体が冷えてくる。山の空気ってこんな感じだったな…と久々の標高2000メートルの世界を楽しんだ。

次回は権現岳から赤岳に抜けて下山しよう…と、次の山行を考える私。



1時間ぐらい山頂に滞在したかったが、帰りはタクシーを使用しないと決めたので早々に下山。帰りは青年小屋を通過して押手川に戻る道を選択。

11時40分 山頂出発

青年小屋に向かう途中シャクナゲがところどころ咲いている。つぼみもあるので、これから咲くのでしょうか？



編笠山から青年小屋までの道、途中から大きな岩が出没。赤くマーキングされているが、この道はガスった時は分かりづらいので要注意。

12時00分 青年小屋到着

赤提灯、「遠い飲み屋」で有名な小屋。外のベンチでは自炊を楽しんでいる登山者数人。美味しそうな香りがしている。



<ポイント1>

青年小屋 八ヶ岳で最も南部にある山小屋

営業期間 4月下旬～11月上旬

収容人数 150人

テント場あり。

水場徒歩 4～5分のところにあり。

売店あり。

ここから押手川まで樹林帯を進む。途中 5メートル程先の方でガサガサッと笹をかき分ける音。なんだ？とそちらに顔を向けると逃げていく鹿の姿が…。八ヶ岳南部には熊はいないとタクシーの運転手さんが言っていたが、一瞬ドキッとした。この道も雪のある季節は道に迷いやすいとのこと。一応目印はあるが、冬はあまり利用したくない。

12時40分 押手川分岐到着

ここから観音平までいっきに下山。途中、親子連れの団体さんとすれ違う。小さいお子様たちは元気いっぱい。天気も良かったし良い思い出になったかな？

13時30分 観音平着

駐車場にはまだまだ多くの車が駐車している。私の下山はまだまだ続く。自然歩道ハイキングコースを経由してゲートまで。しかしこの自然歩道ハイキングコースが全く整備されていない。雑草がかなり生い茂っている。夏場はここを歩く人はあまりいないのか？

14時05分 ゲートに到着

小淵沢道の駅まで歩く事に。道の駅手前で前回同様、観音平で馬に乗ったおじさんとすれ違う。今回はお客様を馬に乗せておじさんは馬を引いている。軽く会釈したが、おじさん覚えてないかな？

14時45分 小淵沢道の駅到着

案内所に行き、駅まで行くバスの時刻を尋ねる。バスは15時40分までないとのこと。これだけ時間があれば温泉も楽しめるのに温泉に入るお金がない。残念！バスの運賃は300円。バス乗車すると楽しみのビールを買うお金が無い。駅まで徒歩30分と言うので歩いて向かう事に。小銭はビールに取っておこう！

15時25分 小淵沢駅到着

駅前のお土産屋さんで缶ビール購入。駅のホームで楽しむ。

16時17分 ホリデー山梨に乗車

心地よい車内の温度とともに睡魔に襲われる。目覚めると高尾駅目前。車内も立ち乗りしている人が増えてくる。

地元の駅、武蔵小金井に下車。

山頂のあの清々しい空気はどこへやら。ムシムシとした空気と風にいよいよ日本の夏到来か？汗をじっとりとかきながら駅から20分歩いて我が家へ。

今年の夏はどんな夏になる事でしょう。

それぞれの夏山、皆様にとって良い思い出登山となりますように…。

小淵沢駅到着	9時02分
タクシーにて観音平へ	
観音平出発	9時40分
雲海展望台着	10時05分
押手川着	10時30分
編笠山山頂着	11時10分
編笠山山頂発	11時40分
青年小屋着	12時00分
押手川着	12時40分
観音平着	13時30分
徒歩にて小淵沢駅着	15時25分



(楽しそうな親子登山の風景、下山時雲海展望台にて)